

安全意識を高め、予防安全に力を入れています。

安全への取り組み

日頃から潜在的なリスクの解消に努めています。

三井金属グループ各所社は、RA(リスクアセスメント)により潜在的なリスクを洗い出し、リスクの高い設備の改善、作業に潜む危険性の情報(ヒヤリハット事例等)の共有を図り、不安全行動が引き起こす災害を未然に防ぐKY(危険予知)活動にも力を注いでいます。こうした予防安全に重点をおいた取り組みで無事故・無災害の達成を目指しています。

●安全教育

階層別安全教育やKY教育の他、作業者との対話に留意したパトロールを行っています。

●安全体感訓練

過去の災害を教訓に手作りした安全体感装置を活用し、安全体感訓練を実施しています。
[装置例]ギヤやベルトに竹や軍手を巻き込ませ損傷度合いや痛みを体感する装置 / 感電を体感する装置 / 床の摩擦係数により滑りやすさを体感する装置 等

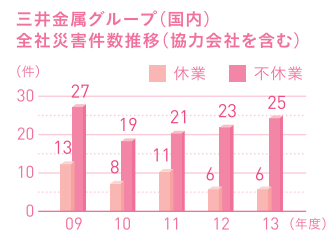
●目や耳に訴える安全の仕掛け

危険個所の色表示、音声による注意喚起を実施。「安全基本ルール」等を記した大型掲示板の設置、災害発生場所の標示、横断歩道や階段での指差呼称指示の標示を行っています。

安全成績

全社災害件数は前年度より2件増加しました。

2013年度のグループ全社災害件数は、前年度から2件増加し31件に、休業災害は前年度同様6件となりました。管理監督者・従業員・協力会社すべてが改めて安全基本ルールを理解し、実作業の中で遵守することに努め、労働災害の撲滅に取り組んでまいります。



労働安全衛生マネジメントシステム

システムの的確な運用で職場環境の改善に努めています。

三井金属グループは、対象37所社すべてにおいて労働安全衛生マネジメントシステム「OHSAS18001」の構築を完了させています。定期的なRA(リスクアセスメント)や内部監査の実施、KY(危険予知)活動などシステムの運用を図り、より安全で働きやすい職場環境の実現に取り組んでいます。

●労働安全衛生関連研修会の開催

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、全所社を対象として労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。

●安全監査の徹底

リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社では2年に1回、安全監査を実施。リスク評価、危険予知などの安全活動の状況と労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、労働安全衛生マネジメントシステムとの整合性をチェックしています。

労働安全衛生関連法令研修

| | | |
|------------|-------|-----|
| ■ 東京本社 | 4月25日 | 14名 |
| ■ 彦島製錬 | 6月20日 | 22名 |
| ■ 竹原製錬所 | 9月5日 | 9名 |
| ■ 上尾研修センター | 10月4日 | 20名 |
| ■ 三池製錬 | 11月7日 | 11名 |

銅箔事業部 上尾事業所



銅箔事業部 上尾事業所 松下直哉 製造課長

職場は、明るく元気! 事業所の無災害継続日数は600日を越え、1000日達成を目指しています。特に新人は赤いヘルメットを被り、新人卒業基準を満たすべく日々安全活動に取り組む、がんばっています。



環境の美化や地域貢献活動に取り組んでいます。

神通川流域のカドミウム問題について合意書締結

富山県の神通川流域で発生したイタイイタイ病の被害者などをつくる神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会(以下、「被団協」との間で、神通川流域で発生したカドミウム問題についての合意書を2013年12月17日に締結しました。

●公害防止へ向けて、改めて強い決意を表明。

合意書は①当社および神通川流域カドミウム問題の発生源となった神岡鉱業(以下、「当社等」)は被団協に謝罪し、被団協はこれを受け入れる②当社等は引き続きイタイイタイ病患者、要観察者に対する補償に対応する③当社等と被団協は農業被害に関する問題は解決されたことを確認する④当社等は公害防止協定の精神を尊重し、引き続き公害防止に努める⑤当社等は神通川流域住民健康管理支援制度を創設し、カドミウムの慢性暴露により腎機能に一定の影響が確認された者に対し一時金を支払い、被団協は本制度創設をもって神通川流域におけるカドミウムによる健康被害および影響に関する未解決の問題が一切解決したことを認める⑥当社等は全面解決に伴い解決金を支払い、問題が全面的に解決したことを相互に確認するといったことが骨子となっています。

この合意書の調印式は、富山市内のホテルで行われ、富山県の石井知事などの立会の下、当社の仙田社長、神岡鉱業の吉田社長と被団協の高木代表、各地区公害対策協議会の代表者が合意書に署名、調印しました。調印式で、仙田社長は、「被害を発生させたことは消し去れない。衷心よりお詫びする。緊張感ある信頼関係の下で、引き続き患者への補償と公害防止に取り組む」と述べ、二度と公害問題は発生させないとの強い決意を表明しました。



きれいな水質を取り戻した神通川



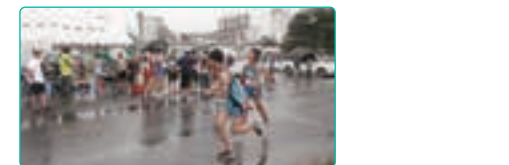
近隣の小学校で交通安全教育。清掃用具を寄付し清掃指導(MKCJ)



事業所周辺を清掃(バライト大阪)



「リフレッシュ瀬戸内」に参加した湯海水浴場を清掃(竹原製錬所)



喜多方駅伝大会へ参加。休息所や救護所の開設支援も行う(バライト喜多方)

地域貢献活動

地域の人々とコミュニケーションを深めています。

三井金属グループでは、従業員が工場周辺の清掃活動を行うなど地域の環境美化に努めています。また、地域の祭りに積極的に参加し、地域の生徒・学生の体験学習や見学会を受け入れるなど、さまざまな機会を通して地域の人々とコミュニケーションを図っています。2013年度は、銅箔、竹原製錬所、神岡鉱業、彦島製錬、三井串木野鉱山、三井金属アクト、バライト、メサライト、三谷伸銅、MKCJなど多くの所社で、これら活動に取り組まれました。

神岡鉱業



神岡鉱業 牛丸昌弘 管理部長

創業開始から140年、地域とともに歩んできた神岡鉱業は、地域とともに発展していくため、地元祭典への参加や地元団体と連携事業GSA(坑内探検ツアー)の実施等、地域貢献事業へ積極的に参加・協力しています。

